

〔史料紹介〕

『邦訳 日葡辞書』 ⑫

——わが国中世の児童文化史研究によせて——

M・M・M

ウマレダチ (生まれ立ち)

生まれたばかり、あるいは、生まれるとすぐ。

(例)ウマレダチニ ヤガテ ヒトニ ヤシナワセタ (生まれ立ちに聽て人に養はせた) 生まれるとすぐに、私はその子を養育するようにと他人にやった。

(例)ウマレダチノ コ (生まれ立ちの子) 生まれたばかりの乳児。

ウマレガエリ (生まれ返り)

親の天性より劣って生まれること、または、親の性質に似ないこと。

(例)ウマレガエリニ ナッタ (生まれ返りになった) 人や動物の子が親に劣っている。

ウマレマシ、ス、イタ (生まれ増し、す、いた)

他の人より優秀な、すなわち、まさった人として生まれる。たとえば、父にまさった子、などのように。

ウマレツキ、ク、イタ (生まれ付き、く、いた)

生まれる、または、何か先天的なものをもつ。

(例)ウマレツイタ カタギヂヤ (生まれ付いた形骸ぢや) それは生来の、すなわち、もって生まれた性癖である。

(例)ドンニ、リコンニ ウマレツク (鈍に、または、利根に生まれ付く) 先天的な愚か者として、または、賢い人として生まれる。

ウマレツキ (生まれ付き)

天性、すなわち、持ちまへの性質。

ウマレヲチ、ツル、チタ (生まれ落ち、つる、ちた)

生まれる。母の胎内から生まれ出てすぐの時を言い表わす語。

ウマレヲトリ、ル、ッタ (生まれ劣り、る、った)

他の人よりも劣って生まれる、または、親や祖先よりも劣った天性をもって生まれる。

ウマズメ(石女)

孕まない女、すなわち、子どもを産まない女。

ウミ、ム、ンダ(産み、む、んだ)

出産する。

(例)コヲ ウム(子を産む) 息子か娘かを産む。

ウミイダシ、ス、イタ(産み出だし、す、いた)

分娩する、子を産み出す。

ウミナガシ、ス、イタ(産み流し、す、いた)

分娩の時期が来る前に死児を墮胎する。または流産する。

ウミヲキ、ク、イタ(産み置き、く、いた)

(例)コヲ ウミヲク(子を産み置く) 子を産み遣す。

ウナイコ(うなぬ子)

十歳以前の子ども。

ヲビナラシ(帯直し)

紐落しに同じ。九歳までの子どもは帯を背後に結ぶ習わ

しであるが、この結び方をやめること。

ヲチ、ヲチノヒト(お乳、または、お乳の人)

子どもを養育する乳母。

ヲック(負課)

支払うべきものとして負っている負債。

(例)ヲックワノ カタニ コドモガ トラレタ(負課のか

たに子どもが取られた)あの人(借金のかた)に子どもを取

られた。

ヲクレガミ(後れ髪)

解けはつれて、髪束の外に垂れ下がっている頭髮。主として子どもの髪について言う。

ヲドリ(踊)

幼児の頭のひよめき。

ヲイタチ、ツ、ツタ(生い立ち、つ、つた)

幼児が成長する、あるいは、大きくなる。

ヲモイゴ(思ひ子)

愛されている子ども、または、いとしく、かわいい子ども。

ヲナゴムスビ(女結び)

この名で呼ばれる結び目の一種、すなわち、輪結び。ただし本来の語はメナゴムスビ(女兒結び)である。

ヲンアイ(恩愛)

親子間なり、夫婦間なりの情愛や愛情。

(例)ヲンアイノ アワレ、オモイ(恩愛のあはれ、または、思ひ)親と子の間などにおける憐れみの情、あるいは、愛情。

ヲンコ(恩顧)

過去の恩恵、すなわち、誰かの親や先祖によって施された

恩恵。

ヲニゴ(鬼子)

長い髪の毛に長い爪、それにまた、犬や猪の持つような歯、すなわち牙が生えて、怪物か野蠻人かのような姿で生

まれる赤子。

ヲロシ、ス、イタ（下ろし、す、いた）

（例）コヲ ヲロス（子を下ろす）婦人がその時期でない時に胎児を殺したりなどして出す。

ヲサナガマシイ、または、ワラベラシイ（幼がましい、または、童らしい）

子どもらしい（こと）。

ヲサナゴ（幼子）

六歳ないし七歳までの子ども。

ヲサナイ（幼い）

子どもらしい、または、幼年らしい（こと）。

ヲサナシイ（童しい）

子どもらしい（こと）。

（例）ヲサナシイ コトヲ イフ（幼しい事を言ふ）子ども

らしい事を言う。

ヲソイガキ（襲い書き）

ある地方で用いられる語。学校の児童がするように、字を習う時に、上からなぞって書くこと。

ヲトナゴト（大人事）

天然痘。

ヲトツワリ（弟悪阻）

母親が次の子を孕んでいるのがもとで起こる、乳飲み子の病気。

（例）ヲトツワリヲ スル ワランベノ チヲノミカヌル

（弟悪阻をする童の乳を飲み兼ねる）この病気にかかっている乳飲み子が、乳を飲むことができない。

ヲウワラワまたヲウワラワナ（大童、または大童な）

髪はばらばらに解け、着物はしまりなくはだけなどして、身なりの乱れている（こと）。

ヲシコロシ、ス、イタ（押し殺し、す、いた）

生まれるとすぐその子を殺す無情な母親がするように、手でおしつぶしたり、窒息させたりして人を殺す。

ヲヤ（親）

父、母。ただし、もっと一般的には父の意に用いられる。

ヲヤカタ（親方）

兄に同じ。年上の兄弟。また、ある人が頼みとしている相手の人、または、奉公している相手の人、または、何かの職を習っている相手の人。

ウシロヒボ（後紐）

子どもの身体のうしろで結ぶ紐。

（例）ウシロヒボノ ワラベ（後ろ紐の意）まだ身体のうしろで紐を結びつけている子ども。

ウエワラワ（上童）

貴人に仕えて奥向きの清潔な用事をする、まだ年のいかない女の子。文書語。